

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・言葉Ⅰ	演習	1	田中 麻紀子・中重 直俊

【ディプロマポリシーとの関連】

<認知的領域（知識・理解）>

3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。

<技能・活動的領域（技能）>

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する（音楽・造形・体育など）の実践力を身につけている。

記載不要【ディプロマポリシーとの関連】

<認知的領域（知識・理解）>

3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。

<技能・活動的領域（技能）>

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する（音楽・造形・体育など）の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

子どもの言葉の発達過程を理解し、保育者のかかわりについて考える。また、事例研究を通して、保育現場での援助や指導を具体的にイメージできるようにする。手あそび・わらべ歌・絵本の読み聞かせの実践を行い、自分のものとして役立てられるようにする。

- ・子どもの言葉の発達過程を理解し、説明できる。
- ・保育現場での適切な保育者のかかわりを実習などで実行できる。
- ・各年齢の子どもに適した絵本を活用することができる。

【授業の概要】

子どもの言葉の発達過程と保育者の援助の実際を事例や参考資料を通して学ぶ。またグループワークでは、保育現場で実際に起こる事例に対しての言葉がけを考え、その背景にある保育者の思いや援助についてのイメージが持てるようにする。手あそび・わらべ歌の実践もグループワークで行い、実習や保育現場で活かせるよう身につけていく。「絵本の読み聞かせ」の実践は、一人ひとり全員が行う。また、1回目の実践を生かし、再度読み聞かせを行う。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション・自己紹介を考える

2. 領域「言葉」のねらいと内容

事前学修課題：『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の言葉の領域を熟読する。【0. 5時間】

事後学修課題：授業内容を振り返り理解を深める。【0. 5時間】

3. 言葉をめぐるワークショップ

事前学修課題：普段自分が発している言葉について考える。【0. 5時間】

事後学修課題：周りに人の言葉に耳を傾け、自分の言葉について考える。【0. 5時間】

4. 乳幼児期の言葉の特性・言葉の育つ道筋

事前学修課題：近くにいる子どもや通りがかりの子どもなど、子どもの言葉や声に耳を傾ける【0. 5時間】

事後学修課題:授業内容を振り返り理解を深める。【0. 5時間】
5. 人とつながる言葉(信頼関係から生み出される言葉) 事前学修課題:友だちや家族との会話や自分の発言を改めて振り返る。【0. 5時間】 事後学修課題:授業内容を振り返り、自分の言葉が相手にどのような影響を与えているのかを考える【0. 5時間】
6. 絵本の読み聞かせ(教材研究・指導案作成) 事前学修課題:自分が発表したいと思う絵本を探す。【0. 5時間】 事後学修課題:作成した指導案に沿って、模擬保育をシミュレーションする。【0. 5時間】
7. 年齢に応じた絵本探し 事前学修課題:各年齢の子どもにどのような絵本が望ましいか、自分なりに探しておく。【0. 5時間】 事後学修課題:授業内で探した絵本の他にもどのような絵本が望ましいかを見つける。【0. 5時間】
8. 絵本の読み聞かせ(実践・第1グループ) 事前学修課題:読み聞かせの練習を行う。【1. 0時間】 事後学修課題:反省点を踏まえて、改めて読み聞かせの練習をする。【0. 5時間】
9. 絵本の読み聞かせ(実践・第2グループ) 事前学修課題:読み聞かせの練習を行う。【1. 0時間】 事後学修課題:反省点を踏まえて、改めて読み聞かせの練習をする。【0. 5時間】
10. 絵本の読み聞かせ(実践・第3グループ) 事前学修課題:読み聞かせの練習を行う。【1. 0時間】 事後学修課題:反省点を踏まえて、改めて読み聞かせの練習をする。【0. 5時間】
11. 言葉を育む文化財・遊び(手あそび・わらべ歌) 事前学修課題:手あそび・わらべ歌について自分なりに調べる。【0. 5時間】 事後学修課題:授業内で行った手あそびやわらべ歌をおさらいし、自分のものにする。【1. 0時間】
12. わらべ歌実践発表(グループワーク) 事前学修課題:自分が楽しめると思うわらべ歌を見つけ、自分のものにし、発表の準備をする。【0. 5時間】 事後学修課題:授業内で行ったわらべ歌をおさらいし、自分のものにする。【0. 5時間】
13. 手あそび実践発表(グループワーク) 事前学修課題:これは誰も知らないと思う手あそびを探し、自分のものにし、発表の準備をする。【1. 0時間】 事後学修課題:授業内で行った手あそびをおさらいし、自分のものにし、実習で使えるようにする。【1. 0時間】
14. 言葉の育ちと保育 事前学修課題:それぞれの年齢に合った保育者の言葉の働きかけとはどのようなものか、自分なりに調べる。 【0. 5時間】 事後学修課題:授業内で配布した資料を再読し、理解を深める。【0. 5時間】
15. まとめ・ふりかえり(絵本の読み聞かせグループワーク) 事前学修課題:絵本の読み聞かせについて改めて振り返り、読み聞かせの練習をする。【1. 0時間】 事後学修課題:これまでの学修を振り返り、自分に身についたもの、身につけていないものを見直す。身につけていないものについては、今後の課題としていく。【0. 5時間】
【学習のあり方】 実践・グループワークには積極的に参加し、役立てることができるよう身につける。
【成績評価】 提出物(20%)、実践発表(50%)、授業態度(30%)により総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

読み聞かせ等の実践に対してコメントをする。

【テキスト】

特に使用せず、授業内に資料を配布する。

【参考文献】

厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館 文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館
内閣府『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』フレーベル館

【実務経験の有無】

幼稚園教諭、主任としての実務経験を生かし、実習や現場で役立てられるような指導法の授業を行う。